

研究発表3 「コミュニティに果たすアートとまつりの役割」

- 取材した祭りとアートは、名のあるものではない。
高名なプロデューサーやキュレーターによって企画運営されるものとは異なっている。
普通に生活している近隣の人たちが集まり、あるいは地域に入り込んだ人たちが知恵を出し合って盛り上げている運動体である。
来場者数を競ったり、売り上げを競ったりするものでもない。
有名性という仕掛けによるのではなく、むしろアマチュアリズムに徹している。
その精神は身の丈。
ゆえに誰でもが参加でき、そして互いに学びながら、育てあう共同制作なのだ。
- 祭りの日、普段の街が一変した。同じ街なのだが祭りの装い(場の改装)によってわくわくしてくる。
装いは、しめ縄や飾り、屋台など。倉に保管されていた神輿や山車が晴れ晴れと並べられる。
それらはアートといってもいいものであった。
幼いころ親しんだ、あのお絵描きと歌うたいの自由時間が戻って来る。
- 祭りとアートは、日常生活に効用をすぐにもたらずものではないと言われている。
しかし、祭りとアートの体験は何ものかをもたらししてくれる。
私たちの日常の暮らしを写しだし、日常生活の中で劣化していく生きる力を与えてくれる。
それは、リハビリテーションなのではないか。

事例①:住宅地の中に生み出された“キャンプのような”まつり-----くさっぱらまつり(大田区久我原)----

2010年 11/6(土) 7(日)



くさっぱらまつり



くさっぱら公園は...
 1967年に手を加え、変えていける公園としてスタート。
 日常的な手入れやトラブル、楽しみや悩みを、
 利用者と行政が共有しながら計画運営しています。
 ◆運営会議 利用者同士、公園課職員と利用者などの
 コミュニケーションの場、誰でも参加できます。
 ◆ワークショップ、いよいよと公園の世話をやく日は毎月1回
 ◆dH 公園の歴史やこれからの予定がわかります。
<http://df.anbr.aque.jp/>

子ども相撲 7日1時ごろ～
 大人も子どもも胸相撲 7日 3時ごろ～
 どなたでもその場で参加できます。



■主催 くさっぱらまつり実行委員会 ■後援 久が原南自治会 ■連絡先 3756-2763 (野々村) 3750-8907 (高田) 3759-3006 (下中)



事例①:住宅地の中に生み出された“キャンプのような”まつり-----くさっぱらまつり(大田区久我原)----

空地をどうしようか?という人



居住者の意見を聞いた行政があった



責任を持って運営していこうという人々



誰に向けて?



近隣、考え方の似ている仲間へ向けてメディアでアピール
(くさっぱら、ひろっぱ、はらっぱという心の風景の共有)



運営会議、お掃除を楽しむ、暮らし方の意見交換



くさっぱら公園の活動が活発になる



くさっぱらまつり



サポーターの輪の広がり

(地区の古老の話を聞こう、地元の商店の特技を見つけ出そう)



街のリハビリセンターの役割



事例②: 心を開いていくアートワークショップ-----ハーモニー展、フェースオブワンダー、さんわーくかぐや-----

第5回 ハーモニー展

2011年2月27日(日)

出演: サルガムテープ
www.nk-nk.com/sallagumtape

会場: 藤沢市立白旗養護学校
音楽ライブ: 12:30~13:30 (開場12:00) 無料
シンポジウム: 13:45~16:00 参加費500円

サルガムテープ プロフィール
1994年、ミュージシャンで俳優のMOMOIの音楽活動から音楽を専攻し、アーティストとして活動。NHKみんなのうたに出演、CDシングルが多数リリース。2007年からはサカサガムテープ、佐野元春のバンド「サカサガムテープ」で元祖「ハーモニー」のメンバーとして活動。長崎県立総合文化センターでライブ活動。長崎県立総合文化センターでライブ活動。長崎県立総合文化センターでライブ活動。

シンポジウム「アートの力」
13:45分
14:00分
14:15分
14:30分
14:45分
15:00分
15:15分
15:30分
15:45分
16:00分

第5回 ハーモニー展

2011年2月25日(金)~3月3日(水)

会場: 蔵まえギャラリー
時間: 11:00~18:00

アートノチカラ

出展団体
よし介工芸館
フェースオブワンダー
さんわーくかぐや
藤沢市立白旗養護学校中芸部
横浜国大附属特別支援学校アート部

お問い合せ: 蔵まえギャラリー
藤沢市藤沢630-1 JR藤沢駅北口徒歩6分
TEL/FAX: 0466-25-9909

さんわーくかぐやの考え方

- 地域の中で自分らしく働き、遊び、学べる、拠点の場であること
- ありのままの自分を表現できる、尊重される場であること
- 一人ひとりの多様なニーズ・夢・希望を支援する場であること
- 障がいがあっても広く子どもにも考え、ともに働き、ともに作り、ともに支えあう地域の中で暮らし、一人ひとりを、役割を担い、育っていくこと
- 広大な竹林と緑のエリアで自然とふれあひ、共生しながら、心身の自立の準備を語り、自由にのびのびとやさしい心を育む

貸助会員募集

貸助会費は、次の方法にてお願い致します。

1. 「特定非営利活動法人さんわーくかぐや」へ待参
2. 銀行へ振り込み 一口2000円より

【お振込先】
普通 2066582
特定非営利活動法人さんわーくかぐや理事藤田藤子
口座振替は加入者負担でお願い致します。

【募集内容】
・資金使途の支援 ・ボランティア ・物品
・賛助会員 ・タオル・石鹸・雑貨 他 未使用品
・活動室での支援 海苔・豆腐・料理などのお手伝い

特定非営利活動法人
さんわーくかぐや

〒251-0476 藤沢市藤沢630-1-1
TEL/FAX: 0466-27-0810
Blog: http://blog.campfire.jp/kaaguya-sf
e-mail: sun_sund_moon2008@yahoo.co.jp



アート・ビーンズ・ファクトリーとは…

私たちは2007年から、ハンディキャップのある方々の作品展やシンポジウムを企画・開催し、さらにグッズの開発・販売を支援してきました。

また、同時期から出前アートの活動を行ってきました。私たちはこれらの活動を通して、アートの重要性を再認識しました。そして、アートを通してハンディのある方々だけでなく、誰もが心も身体も自信にあふれた生活をしていけるような支援がしたいと考え、NPOを立ち上げました。

アートを通じて自己表現に留まらず、彼らの作品を保護し、福祉グッズにアートを取り入れるなど、アートの持つ力を生かした新しい試みを展開していきます。

地域の中で誰もが自分らしく生きる支援をしていきたいと思っています。

の種を育てよう

NPO法人

住所: 藤沢市藤沢630-1 蔵まえギャラリー2F
TEL/FAX: 0466-25-9909
E-mail: leitkids@yahoo.co.jp

代表: 宮前 礼子

アート教室

毎週水曜日 14時30分~16時30分

講師/金子 光史(フェース of ワンダー主宰) 第2・3水曜
A・Bファクトリー講師 第1・4水曜

月謝/3,000円(材料費含む)

参加者作品

出前アート講座

高齢者施設、各支援団体、商店街イベント等にアートの出前をいたします。カリキュラム内容から細かくご相談をさせて頂き、材料や道具も用意してスタッフが伺います。

指導者講習会

第2・3水曜日 18時~20時 定員10名

障がいのある子どもの絵画指導「アートびりり箱」を教材に使用し、新しい指導方法を学びます。

講師/金子 光史(フェース of ワンダー主宰)
月謝/3,000円(材料費別添)

織り教室

毎月土曜日(月2回) 13時~17時

基礎講座は、織りの基本から糸の必要量の計算や、経糸の掛け方を学びます。

基本1/コースター(10×10cm)を6枚
基本2/ランチョンマット、またはマフラー

応用講座は、カリキュラムに沿った自由創作を行います。(基本講座1-2は、糸をご用意いたします。また、織り機の出し入れもいたします。)

講師/関谷 安子(よし介工芸館、染織スタッフ)
月謝/3,500円(材料費別添)

アート研究会

指導者講習会終了後、参加者による自主勉強会を行います。
教材費/1,000円

宿泊染め講座

新潟県糸魚川市(旧籠生町)籠生川の最上流にある限界集落「田妻平」は、クルミの里。春の嵐山は、一面のかたくりと山菜の宝庫。古民家に宿泊し、クルミ・生薬・赤蘇・こごみ等を使い草木染めを楽しまします。

事例②: 心を開いていくアートワークショップ-----ハーモニー展、フェースオブワンダー、さんわーくかぐや-----



“集まれる場づくり”



家から出て来てもらうことが実現



当事者の仲間ができる



一日の暮らしを（朝礼、共同食事、日誌付け）共有する。
家事（掃除、畑仕事、アート、ワークショップなど生産活動）を含めた共同生活



アートの発表・展示・販売（自分にもできることがある。自分に気づく）



ワークショップのためのストック（場所＋材料＋工具＋時間）



日常生活のリハビリセンター

●事例③:くらしをアシストするアートフェスティバル---伊豆高原アートフェスティバル(静岡県・伊東市)---



半島暮らし(都会とは異なる自然と親しむ暮らしを見直す)



その暮らしを共有し、育てていくために考え出されたアートフェスティバル
(自主運営、自主企画の精神+アマチュアリズム)



これもリハビリである



ゆえに、参加費を払って(自己負担)参加するフェスティバル



このことが責任感(来場者へのもてなしなど)と盛り上がり(自慢できるアートフルな暮らし)



リピーターが多いのはこのアートフルな暮らしに触れられるから。
それは、美術館の空間ではあり得ないこと。

●事例④: 建物のコンバージョンがアートを変え、街を変える—黄金町バザール(神奈川県横浜市)—



黄金町バザール2011

まちをつくるこえ

アーティスト 公開制作中!

Ver.1 8/6 SAT - 8/31 WED Ver.2 9/2 FRI - 11/6 SUN

会場: 京急線日ノ出町駅から黄金町駅間の高架下スタジオ、周辺のスタジオ、既存の店舗、屋外空地、他
 時間: 昼間の会場(おもに屋内) 11:00 ~ 19:00 / 夜の会場(おもに屋外) 日没 ~ 0:00
 休場日: 8月・9月の毎週木曜日、10/13(木)、10/27(木)
 入場料: 黄金町バザール2011 会期中有効フリーパス(一部無料会場有り) 当日高校生以上 500円 / 中学生以下 無料
 Venue: The Koganecho area along the Keikyu Line tracks between Hinodecho station and Koganecho station
 Open: [Day-time exhibition] 11:00-19:00 / [Night-time outdoor exhibition] sunset-0:00
 Closed: Every Thursday in August & September, October 13th, 27th Ticket: Freepass ¥500

主催: NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター、協賛: 日ノ出町環境浄化推進協議会
 共催: 横浜青 後援: 神奈川県、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団、公益財団法人トヨタ財団
 協賛: 東京急行電鉄株式会社、アサヒビール株式会社、アサヒ飲料株式会社
 協力: 神奈川県警察本部、神奈川県伊勢佐木町警察署、社団法人横浜中華会、日ノ出町町内会、初美町町内会、日ノ出町駅前A地区市街地再開発組合、Kogane-X Lab. 運営委員会、公立大学法人横浜国立大学、アートコレクション・ヨコハマ、BankART 1929、北極ステール(横浜文化創造都市スクール)
 コホパトリエンナーレ2011特別連携プログラム: BankART Life III

ヨコハマトリエンナーレ2011 特別連携セット券 (コホパトリエンナーレ2011、BankART Life III、黄金町バザール2011との特別連携セット券)
 事前売: 一般 ¥1,400円 / 大学生 ¥900円 / 高校生 ¥400円 当日売: 一般 ¥1,800円 / 大学生 ¥1,200円 / 高校生 ¥700円
 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
 Yokohama Triennale Special Tie-up Ticket (A joint ticket for discounted admissions to Yokohama Triennale 2011 plus 2 special tie-up programs.)
 Advanced Ticket: Adults ¥1,400 / University Students ¥900 / High School Students ¥400
 Ticket on the day: Adults ¥1,800 / University Students ¥1,200 / High School Students ¥700
 *Free admission for junior high school students, disabled person with ID and up to 1 attendant.

黄金町まちあるきまっぷ

黄金町バザール2011の会場は、黄金町バザールインフォメーションにてご案内します。

CHAPEL(真奈川アートプラネット)
<http://artplanet159.web.fc2.com/>
 1FスタジオA MA/村田真(美術ジャーナリスト・美術)
 竹本真紀(演劇家)
 1FスタジオB 共同スタジオ
 内田真由(アーティスト)
 藤川裕美子(アーティスト)
 藤原真子(アーティスト)
 2F Chapter 2(多目的スペース(展示・録音スタジオなど))
 3F 小林幸一(アーティスト)
 4F 細田勇介(演劇家)
 稲穂真文(演劇家)

■新設名
 ■カフェ
 ■ショップ
 ■黄金町バザール2011
 インフォメーション
 ■地域の店舗
 ■近隣のアートスペース
 ■まちづくりニュース配布場所

黄金町エリアマネジメントセンター事務局
 東小学校
 USEDセレクト子ども服
 クロアック
 火-日休 10:00 - 17:30
 ちりめんや
 木休 11:00 - 19:00
 ちりめんや2F
 志村博樹(アーティスト)
 コジメックス・ラボ
 初美・日ノ出町環境浄化推進協議会
 横浜市立大学(まちづくり拠点)
 木休 11:00 - 19:00
 ハツネテラス
 [Architecture Planet Project]
 5組の建築家による5つのスペース
 ゴールドスタジオ
 (伊藤美小/寺田忠志/中村仁子)
 メリノ(アーティスト)
 安田博通(建築デザイン/アトリエ—建築士事務所)
 カフェ★(カフェ・スター)★
 月-水休 12:00-18:00(本日は20:00まで)
 ジャンリュック・ブルーム(Cafe★)2009
 インスタレーション作品展示
 ハツネウイング
 太田賢輔 / FAU Studio(美術家)
 富貴芸術科学大学(大学・芸術家)
 ぶち木(木工房)
 かいだん広場
 1の1スタジオ
 ステファウワン
 (Kogane-X企画コーナー)
 さかもとゆり(アーティスト)
 初音スタジオ
 朝田拓史(アーティスト)
 O's Dining(喫茶/カフェ) 日休休 17:00-23:00
 山田よしえ(アーティスト)
 室津文枝(作家)
 高橋下新スタジオ
 オノエ(アーティスト)
 木休 11:00 - 18:00
 GALAHouse
 高橋ビル
 キムオジソン(Kim Eon Jeong)(アーティスト)
 O's Dining
 木休 11:00-19:00
 nitehi works
 不定休 17:00 - 22:00(土日昼 15:00 - 22:00)
 TEL&FAX:045-334-7446
 http://www.nitehi.net/
 シネマジャック&ベティ
 年中休 10:30 - 21:00
 年中休作品により変更有り
 TEL:045-243-9800 FAX:045-252-0827
 http://www.jackandbetty.net/

◎黄金町エリアマネジメントセンターでは、賛助会員を募集しています。入会方法については直接事務局までお問い合わせください。

黄金町バザール まちづくりニュース vol.37 編集/問合せ: NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター
 〒231-0006 横浜市中区日ノ出町2-158 Tel: 045-281-5467 Fax: 045-325-7222 <http://www.koganecho.net>
 デザイン: 大村政之(ケルル)

10月のオープンスタジオは、
 10月9日(日) 12:00-16:00 開催!

●事例④: 建物のコンバージョンがアートを変え、街を変える—黄金町バザール(神奈川県横浜市)—



まちづくり協議会+行政+警察によるバイバイ作戦

↓
街の中に生み出された空き家

↓
行政が買い取り→エリア・マネジメントセンターへ貸し出し

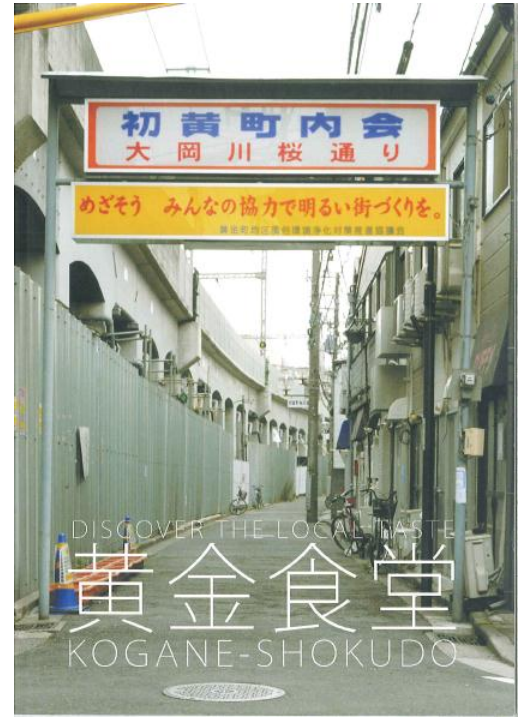
↓
エリア・マネジメントセンター主導の建物の改装

↓
周りの人たちの関心ごとになる

↓
黄金町バザールの誕生

↓
アーティストへの貸し出し

↓
バザール期間以外の利用展開



◎場を耕作し、手入れを加えていく“耕作型”(culture)のあり方。

◆土壌づくり(“場”づくり)

◆種まき(自主企画、自主運営)

◆水撒き、草取り、土壌改良(人のストック+素材のストック)

◆実がなりだす(臨機応変な対応、ワークショップ)

◆収穫、収穫祭(他者へのアピール、アート展、祭り)

◆次期へ向けての種とり、土壌改良(次へ向けてのストック作業)